

「進和あざひホーム」の利用者が育てたナデシコの苗を、平塚市役所で無料配布している＝写真。

同施設を運営する社会福祉法人「進和学園」は1965年から、施設利用者や職員が平塚市民の花に指定されているナデシコの栽培に取り組んでいる。

毎年4月に市内で開催される「市緑化まつり」などで無料配布してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年以降は中止が続き、今年も市役所で実施。4月26日から5月13

**平塚**  
知的障害者施設  
平塚市高根の

施設利用者栽培  
ナデシコ苗配布



日の10日間、計1200ポットを配布する。

ナデシコは山や野原に咲く多年草で、夏から秋にかけてピンク色の花を咲かせ、毎年、持ち帰った市民から「かわいいお花が咲きました」といった声や写真が届き、村山淳一施設長は「コロナ感染をはじめ、暗いニュースが多い中、ナデシコの花で少しでも心がほっとできればと願っている」と話している。配布は市役所南入口前で平日午前10時～午後3時半。